

甲賀市商工業振興基本計画の体系

【基本方針】

時代の流れを見極めながらヒト・モノ・コトの投資を戦略的に展開することにより、域内消費の拡大と、域外から稼ぐ仕組みをつくり、地域経済の循環で、活気あふれるまちを目指します。

【基本目標1】

産業基盤の整備・企業誘致の強化

【施策 1-①】 企業活動を活性化させる環境（道路・公共交通等）整備

【施策 1-②】 工業用地創出による、企業誘致・立地の推進

【施策 1-③】 優遇措置等による設備投資の促進

【基本目標2】

商業・サービス業の活性化

【施策 2-①】 農商工連携による地域資源の活用

【施策 2-②】 きめ細かな伴走支援の仕組みづくり

【施策 2-③】 意欲的な個店等の直接支援

【基本目標3】

地場産業の維持拡大

【施策 3-①】 国内外への地場産業の魅力発信

【施策 3-②】 技術や伝統の継承・後継者育成・担い手確保

【施策 3-③】 新たな市場開拓・販路の維持拡大

【基本目標4】

新たな産業の創出と創業支援

【施策 4-①】 地域資源を活かした地域プロジェクトの創出

【施策 4-②】 産官学金連携による新分野・新事業展開の支援

【施策 4-③】 創業支援の強化

【施策 4-④】 観光関連産業の活性化

【基本目標5】

経営の支援と雇用の安定化

【施策 5-①】 中小企業の経営支援

【施策 5-②】 事業承継・事業連携の推進

【施策 5-③】 人材の育成・確保支援

【施策 5-④】 働き方改革・ワーク・ライフ・バランスの推進

【施策 5-⑤】 女性・高齢者等の活躍推進

【計画期間】

	2017	2019	2020			2024			2028
総合計画									
基本構想	計画期間：12年間 2017年度(平成29年度)から2028年度								
基本計画	第1期 4年間			第2期 4年間			第3期 4年間		
商工業振興計画	計画期間：10年間 2019年度から2028年度								
(実施プラン)	見直し 2年			見直し 4年			見直し 4年		

【目標指標】

基本目標指標
(経済活動市内総生産)

【2015年度】	【2020年度】	【2024年度】	【2028年度】
6,107億円	6,740億円	7,290億円	7,900億円
(基準年)	(約10%増)	(約19%増)	(約29%増)

進捗評価指標
(基本目標ごとに設定)

指標名	【2017年度】 実績		【2020年度】 目標
基本目標1. 産業基盤の整備・企業誘致の強化			
粗付加価値額	3,457億円 <small>※2016年度</small>	⇒	3,670億円 (6%増)
工場立地法届出建築面積	13,748㎡/年	⇒	39,000㎡ (累計)
基本目標2. 商業・サービス業の活性化			
市内生産額(商業・サービス業)	708億円 <small>※2015年度</small>	⇒	780億円 (10%増)
商工会相談件数	9,036回	⇒	13,200回 (46%増)
基本目標3. 地場産業の維持拡大			
一人当りの信楽焼生産額	714万円 <small>※2016年度</small>	⇒	770万円 (8%増)
化学工業粗付加価値額	1,770億円 <small>※2016年度</small>	⇒	1,910億円 (8%増)
基本目標4. 新たな産業の創出と創業支援			
法人市民税納税者数(1号法人)	1,230人	⇒	1,290人 (20人増/年)
市内観光消費額	150億円	⇒	168億円 (12%増)
基本目標5. 経営と雇用の安定化			
市民税納税者数	46,848人	⇒	47,700人 (300人増/年)
人材不足感	65.7%	⇒	56% (年3.2%減)

甲賀市商工業振興計画 基本目標指標の現状

※市内総生産の数値は時点修正された最新の数値を採用

経済活動市内総生産

【2015年度】 (実績)	【2016年度】 (実績)	【2017年度】 (推計)	【2018年度】 (推計)	【2020年度】 (目標)	【2024年度】 (目標)	【2028年度】 (目標)
6,132億円	5,529億円	5,998億円	5,762億円	6,740億円	7,290億円	7,900億円
(基準年)	(約10%減)	(約2%減)	(約5%減)	(約10%増)	(約19%増)	(約29%増)

甲賀市商工業振興計画 進捗評価指標の現状

指標名	【2017年度】 実績 (基準)	⇒	【2018年度】 実績 (現状)	基準増減	【2020年度比】 達成率	⇒	【2020年度】 目標	備考 ※目標値の考え方
基本目標1. 産業基盤の整備・企業誘致の強化								
粗付加価値額	3,457億円 <small>※2016年度</small>	⇒	3,334億円 <small>※推計値</small>	-4%	96%	⇒	3,670億円 (6%増)	毎年2%増
工場立地法届出建築面積	13,748㎡/年	⇒	52,823㎡ (累計)	+284%	135%	⇒	39,000㎡ (累計)	過去3年平均
基本目標2. 商業・サービス業の活性化								
市内生産額 (商業・サービス業)	703億円 <small>※2015年度</small>	⇒	672億円 <small>※推計値</small>	-4%	86%	⇒	780億円 (10%増)	毎年2%増
商工会相談件数	9,036回	⇒	11,006回	+22%	83%	⇒	13,200回 (46%増)	県内最多水準1,200回/人
基本目標3. 地場産業の維持拡大								
一人当りの信楽焼生産額	695万円	⇒	740万円	3%	96%	⇒	770万円 (8%増)	生産性向上年2%
化学工業粗付加価値額	1,770億円 <small>※2016年度</small>	⇒	1,805億円 <small>※推計値</small>	+1%	94%	⇒	1,910億円 (8%増)	毎年2%増
基本目標4. 新たな産業の創出と創業支援								
法人市民税納税者数 (1号法人)	1,230人	⇒	1,211人	-2%	94%	⇒	1,290人 (20人増/年)	1号法人 (従業員50人以下) 平均13人増/年
市内観光消費額	150億円	⇒	172億円	+15%	102%	⇒	168億円 (12%増)	観光振興計画より
基本目標5. 経営と雇用の安定化								
市民税納税者数	46,848人	⇒	47,106人	+1%	99%	⇒	47,700人 (300人増/年)	毎年300人増 (3年間平均)
人材不足感	65.7%	⇒	58.0%	-12%	96%	⇒	56% (年3.2%減)	10年後、半減、毎年3.2%減少

公表が遅れる指標については、正の関係性の高い他の指標等を活用して推計することにより、評価を行う。

公表が遅れる指標	毎年報告される指標	関係性
経済活動市内総生産	工業製品総生産額（製造品出荷額等）	0.9

※関係性は相関関数による数値

公表が遅れる指標	推計手法
市内生産額（商業・サービス業）	回帰曲線（トレンド関数）による
製造業粗付加価値額	回帰曲線（トレンド関数）による

市内総生産・製造業粗付加価値額の推計値について

（単位：億円）

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 推計値
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
総生産※2016まで実績値	5,091	5,308	5,162	5,041	5,420	5,759	4,676	4,938	5,323	6,132	5,529	5,998	5,762
製造業粗付加価値額	3,113	3,011	3,127	2,963	3,244	3,459	2,589	2,724	3,003	3,905	3,457	3,744	3,517
製造品出荷額等	7,188	7,604	8,128	7,145	7,544	8,002	6,890	7,343	8,080	9,742	9,389	10,257	9,566
化学工業付加価値額	1,412	1,417	1,388	1,418	1,759	2,037	1,073	1,111	1,427	1,978	1,770	1,933	1,792

総生産と付加価値額の相関係数	0.959947
総生産と製造品出荷額の相関係数	0.873833

←採用

総生産 関数 $y = 1.0809x + 1919.3$

市内総生産（商業・サービス業）の推計値について

（単位：百万円）

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
市内総生産（商業・サービス業） ※2016まで実績値	74,332	75,156	75,141	73,915	70,739	69,482	69,298	69,875	69,442	70,304	69,829	67,853	67,230
商工会融資斡旋総額					4,413	3,471	265	2,992	2,015	1,814	1,362	970	767

総生産と商工会融資斡旋総額相関係数	0.57906509
-------------------	------------

←高い相関関係が得られず回帰曲線（トレンド関数）により推計

甲賀市商工業振興計画 進捗状況

△検討、●実施、→継続

基本目標	施策	主な事業	事業の概要	実施主体	2019年度 (計画)	2019年度 (現状)	取組状況・課題等	今後の取組	2020年度
1. 産業基盤の整備・企業誘致の強化	①. 企業活動を活性化させる環境（道路・公共交通等）整備	道路、緑地、公共施設等の適正な管理	道路を常に良好な状態に保つことにより、安全で円滑な交通状況を確保します。緑地や公園等の公共施設を適切に管理し、良好な操業環境の保全を図ります。	市関係機関 民間	●	●	個別の事案への対応と併せて、市全体として戦略的な取り組みが必要。	部局横断で企業のニーズに決め細やかに対応する仕組みづくりを行う。	→
		産業インフラの整備	道路整備基本計画に基づき主要な工業団地とインターチェンジ等とを結ぶ円滑なアクセス環境を形成するとともに、新名神高速道路等の広域的な交通網を活かし、産業振興を担う道路整備を推進します。	市関係機関	△	△	利便性向上や安全対策等に加えて、産業振興を目的とした道路整備を戦略的に進める仕組みが必要。	名神名阪連絡道路の整備推進等、新名神高速道路等の広域交通網を活かした幹線道路網の強化を図る。	●
		公共交通の利便性向上	地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通機関の最適化により公共交通の利便性向上を図ります。	市関係機関	△	△	地域の公共交通の維持や利便性の向上に加えて、産業振興を目的とした公共交通施策を進める仕組みが必要。	立地企業のニーズを聞き取り、施策の検討を進める。併せて、部局横断で企業のニーズにきめ細やかに対応する仕組みづくりを行う。	●
		通勤課題の解消	工業団地等への通勤対策に対する支援制度の創設や、IoT等の活用による新たな交通システムの構築について検討します。	市民間	△	△	市内企業の設備投資や新規立地が進む中、市内企業より、人材確保等の観点から広域から人材が確保できるような通勤課題の解消が求められている。	立地企業のニーズを聞き取り、施策の検討を進める。併せて、部局横断で企業のニーズにきめ細やかに対応する仕組みづくりを行う。	●
	②. 工業用地創出による、企業誘致・立地の推進	新たな工業用地の整備	不足する工業用地を確保するため、インターチェンジ周辺など、新たな工業団地の整備を進めます。	市民間	●	●	2021年度末の造成完了に向けて（仮称）甲賀北工業団地の整備に着手中。今後も工業用地の不足が予想されることから、引き続き工業用地確保に向けた取組が必要。	不足する工業用地を確保するため、（仮称）甲賀北工業団地整備後の工業用地について、立地企業のニーズを踏まえて検討を進める。	→
		緑地等の基準を緩和	不足する事業用地を確保し、設備投資の機会ロスを防ぐため甲賀市工場立地法における緑地等の基準の特例を定める条例により、緑地等の基準緩和を維持します。	市	●	●	緑地等の基準の特例による規制緩和により設備投資を更に呼び込む。	緑地等の基準の特例による規制緩和についてPRを進め、設備投資を更に呼び込む。	→
		事業用地台帳の整備	企業誘致の可能性のある用地のデータベース化による情報提供を行い、企業誘致を促進します。	市	●	△	市内の市街化区域の空地等、企業立地のニーズに応えられる用地の調査を進め、民間活用を促す仕組みが必要。	市内の市街化区域の空地等、企業立地のニーズに応えられる用地の調査を進め、民間活用を促す仕組みづくりを進める。	→
		土地利用の調整	産業用地の確保を阻害する利用規制などにかかる調整を進め、産業用地の創出に努めます。	市	△	△	企業立地のニーズが高い地域における農振農用地、市街化調整区域といった規制の調整が必要。	立地企業のニーズを聞き取り、施策の検討を進める。併せて、部局横断で企業のニーズにきめ細やかに対応する仕組みづくりを行う。	●
		企業誘致・立地の推進	本市の立地環境やモノづくり産業の集積といった強みを活かし、付加価値の高いモノづくり産業に重点を置いて、事業活動の中核となる本社機能や研究開発機能等を有する企業の新規立地の促進を図ります。	市関係機関	●	●	土地利用の調整や優遇制度の検討等、戦略的な企業立地を進めるための仕組みが必要。	部局横断で企業のニーズに決め細やかに対応する仕組みづくりを行い、戦略的な企業誘致を進めるため、市施策のパッケージ化を進める。	→
		固定資産税の不均一課税の実施	市内における企業等の新たな立地・設備投資を支援し、産業の振興と雇用機会の拡大を図るため、固定資産税の特別措置（減税）を行います。	市	●	●	立地企業の波及効果を踏まえた、メリハリのある優遇制度の検討が必要。	国、県の優遇制度との調整を図りながら、メリハリのある優遇制度の検討を進める。	→

基本目標	施策	主な事業	事業の概要	実施主体	2019年度 (計画)	2019年度 (現状)	取組状況・課題等	今後の取組	2020年度
	③. 優遇措置等による設備投資の促進	生産性向上特別措置法に基づく中小企業の設備投資の支援	中小企業の労働生産性の向上と設備投資の後押しをするため、国の指針に従い、生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画を定め、中小企業が実施する設備投資を支援します。	市	●	●	中小企業の生産性向上への支援を継続する。	国等の施策を踏まえ、切れ目無く支援ができるよう情報収集を行う。	→
		国・県等補助制度の活用促進	設備投資や新たな商品開発等に取り組む事業者が国や県・関係機関の実施する支援制度を有効活用できるよう情報提供に努めます。補助金や融資制度等に関連する企業からの問い合わせに対し、市だけでなく県や国等の制度についてもワンストップで対応できるような相談体制の整備を進めます。	市 関係機関	●	●	事業者からの相談内容にきめ細やかに対応するため、ワンストップでの対応を継続する。	立地企業のニーズを聞き取り、施策の検討を進める。併せて、部局横断で企業のニーズにきめ細やかに対応する仕組みづくりを行う。	→
2. 商業・サービスの活性化	①. 農商工連携による地域資源の活用	新商品開発等の促進	地域特性を活かした特産品の開発、付加価値の向上、販売拡大等のため、開発資金確保や大学等と企業とのマッチング機会の創出などによる新たな商品の開発を促進します。	市 関係機関 民間 大学等	●	●	商工会との連携による補助金の活用のほか、関係団体や支援機関との連携が必要。	市内産品の地産地消を目的として関係団体と連携した取組を検討する。	→
		異業種間連携の推進	関連産業だけでなく、多様な産業との連携による、地域資源を活用した新事業の創出等の取組を推進します。	市 関係機関 民間	●	●	工業会や商工会の異業種交流に加え、テーマや目的を絞ったプロジェクトを掘り起す必要がある。	市内産品の地産地消を目的として関係団体と連携した取組を検討する。	→
		6次産業化の推進	地元で生産された農産物の付加価値向上を目指した、農林業者による6次産業化の取組を推進します。	市 関係機関 民間	●	●	商工会やJAとの連携による補助金の活用のほか、関係団体や支援機関との連携が必要。	市内産品の地産地消を目的として関係団体と連携した取組を検討する。	→
	②. きめ細かな伴走支援の仕組みづくり	関係機関による一体的な支援拠点の整備	中小企業の多様な経営課題に対応するための総合的な相談窓口となり、関係機関の支援ネットワークのハブ機能を有し、継続して支援を行う支援拠点の整備を進めます。	市 関係機関	△	△	甲賀市商工会が設置準備を進めている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターとの密な連携を検討する。	2020年から運用開始が計画されている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携し、取組を進める。	●
	③. 意欲的な個店等の直接支援	経営相談の強化	事業者が消費者のニーズを把握し、IT化、商品構成、営業時間等の店舗運営に反映できるような取り組みに対する相談体制の強化を図ります。	市 関係機関	△	△	甲賀市商工会が設置準備を進めている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターとの密な連携を検討する。	2020年から運用開始が計画されている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携し、取組を進める。	●
		経営支援制度の充実	事業者のニーズを把握し、国や県、関係機関等の各種支援制度の活用を図るとともに、最適な直接支援制度の創出について検討します。IoT等の新たな技術を活用し生産性向上に取り組む事業者への支援を行います。	市 関係機関	△	△	甲賀市商工会が設置準備を進めている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターとの密な連携を検討する。	2020年から運用開始が計画されている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携し、取組を進める。	●
		経営資金の確保	現行の小口融資を引き続き実施し、適切な融資により企業の経営基盤の安定化を目指します。信用保証や各種融資・補助制度など、中小企業の経営支援のための国や県及び各種団体の制度を有効に活用できるよう、情報を収集し提供に努めます。	市 関係機関	●	●	市内金融機関との連携により、小口融資等の施策に取り組む。	市内金融機関との連携により、小口融資等の施策に取り組むとともに、(仮称)甲賀ビジネスサポートセンター等の支援機関とも連携した取組を検討する。	→
		くすりのまち甲賀の情報発信等による業の振興	くすりのまち甲賀を国内外に発信し、イメージ向上を図り地場企業を側面支援するため、業に関する普及啓発や学習会及び研修会の実施、業に関する歴史的、民俗的、産業的資料等の収集、保管及び展示を行います。超高齢社会における新たな配置薬販売のビジネスモデルについて検討します。	市 関係機関 民間 大学等	●	●	くすり学習館を活用した情報発信に取り組む。併せて、産官学金連携による業振興に関する具体的な取組が必要。	市内の観光拠点の整備に併せて、くすり学習館での情報発信を強化する。また、関係団体や地元企業、近隣大学と連携し、業振興に関するプロジェクトを掘り起す。	→

基本目標	施策	主な事業	事業の概要	実施主体	2019年度 (計画)	2019年度 (現状)	取組状況・課題等	今後の取組	2020年度
3. 地場産業の維持拡大	①. 国内外への地場産業の魅力発信	六古窯信楽焼のブランド向上	信楽焼の技術や価値を展示・紹介し、これらの文化を未来に承継することを目的とする新たな拠点施設の整備や信楽焼産業製品の展示、日本遺産に認定された六古窯信楽焼のブランド化等により、信楽焼の産業を国内外に発信し、産地としての価値を高め、イメージ向上を図り地場企業を側面支援します。	市 関係機関 民間	●	●	2019年度に信楽伝統産業会館の改修完了。また、日本遺産の取組みにより他の産地との連携を深めるほか、世界的に著名な造園技師との異業種連携による価値発信を進める。	日本遺産を契機とした他の産地との連携を更に深めるほか、信楽焼との親和性や相乗効果の高い異業種連携を進め、伝統と革新のバランスを取りつつ、ブランド価値の向上を図る。	→
		信楽焼の魅力発信による誘客の促進	2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機として、信楽焼の知名度と魅力をさらに高めるため、イベントを開催し、信楽焼の魅力を世界に発信することで、日本人観光客・訪日外国人観光客（インバウンド）の誘客を促進します。	市 関係機関 民間	●	●	2020年の信楽まちなか芸術祭、六古窯サミットの開催に向け、地元・関係機関等と準備を進める。併せて、ドラマ等のメディアの効果を最大限活用できるように、市内全域で官民連携で取組みを進める。	効果が一過性のものとならないよう、地元を巻き込んだ魅力発信に関する取組みを継続する。	→
		地場産品の市内消費拡大	市民が日頃から、信楽焼などの地場産品に親しみ、来訪者に自信を持って紹介できるように市内消費の拡大に努めます。	市 関係機関 民間	●	●	地元で開催されるイベントへの支援や情報発信により、市内消費を促す。また、ドラマ等のメディアの効果を市内全域で盛り上げる取組みにより、市内の消費行動にも繋げる。	市民、産地が一体となれる取組みを更に進める。	→
	②. 技術や伝統の継承・後継者育成・担い手確保	信楽窯業試験場との連携による人材育成	研究開発・技術支援・人材育成・魅力発信・連携交流・情報発信の機能を有する滋賀県立信楽窯業試験場との連携を強化し、技術継承・人材育成を進めるとともに、育てた人材と市内事業者へのマッチングを進めます。	市関係機関	●	●	日本遺産等について連携して取組むほか、将来的な信楽窯業試験場の在り方や機能を踏まえた連携についても検討する必要がある。	移転後の信楽窯業試験場の連携により、現在の取組みを更に深めるための検討を進める。	→
		陶業後継者修学資金への支援	陶業後継者を育成するため、窯業に関する高度な理論と技術を修め、将来、信楽焼等の関連事業所に就業しようとする者に対し、修学資金への支援を行い、陶業後継者を育成します。	市	●	●	陶業後継者育成修学資金の活用や信楽高等学校地域支援協議会への支援等により陶業後継者の育成を図る。	育成された後継者が市内事業所に定着し、産地の振興が図れるよう、取組みを進める。	→
	③. 新たな市場開拓・販路の維持拡大	地場産業等の販路開拓	地場産業に携わる中小企業者が、海外や新たな異業種との連携等による新規販路を開拓するための支援を行います。海外販路の開拓については日本貿易振興機構（ジェトロ）との連携による伴走支援を行います。	市 関係機関	●	●	信楽焼の海外販路開拓について、ジェトロとの連携により伴走支援を行う。	信楽焼に加え、お茶、菓等の市内地場産業の海外販路開拓について検討を進める。	→
		新商品開発等の支援	地域特性を活かした特産品の開発、付加価値の向上、販売拡大等のため、開発資金確保や大学等と企業とのマッチング機会の創出などの支援を行います。	市 関係機関 大学等	●	●	新商品開発補助金による支援や情報発信に取組む。	関係団体等との連携により、新商品の開発や販路拡大について支援する仕組みを構築する。	→
	①. 地域資源を活かした地域プロジェクトの創出	特区等特別支援制度の創設	地域の稼ぐ力を生み出し、地域課題の解決や地域の活性化を図るリーディングプロジェクトの発掘と特別な支援制度を創設します。	市	△	△	外部有識者による方針検討を行い、支援対象となるプロジェクトの掘り起しを行う。民間プロジェクトのほか、庁内プロジェクトを中心に検討を進める。	支援対象となるプロジェクトを掘り起すため、仕組みづくりや庁内検討を進める。	●
		②. 産官学連携による新分野・新事業展開の支援	IoT等活用による新ビジネスの創出	I o T等を活用し、高付加価値な新商品開発や生産性向上等を図るための新たな手法の調査・検討を進めます。	市 関係機関 大学等	△	△	農工連携による生産性向上等に関する調査事業に取り組む。アイデアの掘り起しから次のステップとなる実証に至るまでの具体的な動きを促す仕組みが必要。	リーディングプロジェクトとなる実証事業の掘り起しを関係団体等との連携により進める。

基本目標	施策	主な事業	事業の概要	実施主体	2019年度 (計画)	2019年度 (現状)	取組状況・課題等	今後の取組	2020年度
4. 新たな産業の創出と創業支援		産官学金連携の推進	大学などの研究機関との交流や連携に加え地域金融機関とも連携し、新たな刺激やアイデア、技術開発などの知的情報の導入を促進し、共同作業、共同研究、市場調査や社会実験による新分野・新事業の創出を促進します。 産学交流について、企業アンケート等により大学などからの支援ニーズを把握しマッチングを進めます。	市 関係機関 民間 大学等	△	△	近隣大学との連携や地域金融機関との連携による産官学金プロジェクトのプレイヤーとなる民間事業者等の掘り起しが課題。	忍者、信楽焼、葉、お茶等の地位資源を活かしたテーマのプロジェクトについて、引き続き検討を進める。	●
	③. 創業支援の強化	関係機関による一体的な支援拠点の整備【再掲】	中小企業の多様な経営課題に対応するための総合的な相談窓口となり、関係機関の支援ネットワークのハブ機能を有し、継続して支援を行う支援拠点の整備を進めます。	市 関係機関	●	●	商工会との連携による補助金の活用のほか、関係団体や支援機関との連携が必要。	農業の六次産業化や観光振興等のテーマに沿った創業を促すよう運用を検討する。	→
		創業支援の強化	起業するにあたって必要な情報や手続きなどを市内外に積極的に発信するほか、情報提供やアドバイスを行うための相談機能の充実や創業資金の確保等により、市内で起業に取り組む人々を支援します。	市 関係機関	●	●	商工会との連携による補助金の活用のほか、関係団体や支援機関との連携が必要。	2020年から運用開始が計画されている（仮称）甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携にするほか、JAや観光協会等の関係団体とも連携した取組みを進める。	→
		地域コミュニティビジネスの推進	地域の人々や、本市内での起業や店舗経営を目指す創業者による、地域コミュニティに立脚したビジネスを推進します。	市 関係機関 民間	△	△	空家活用や中山間地域の振興等の地域課題とビジネスを結びつける仕組みづくりについて検討を進める。	2020年から運用開始が計画されている（仮称）甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携にするほか、地域とも連携した取組みを進める。	●
	④. 観光関連産業の活性化	創業支援（観光）の推進	起業するにあたって必要な情報や手続きなどを市内外に積極的に発信するほか、情報提供やアドバイスを行うための相談機能の充実や創業資金の確保等により、市内で起業に取り組む人々を支援します。	市 関係機関	●	●	甲賀市歴史文化都市構築事業補助金の活用等により、観光事業者の起業や観光産業の振興を図る。現在、整備を進めている観光拠点との相乗効果を高めるための取組みが必要。	2020年から運用開始が計画されている（仮称）甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携にするほか、JAや観光協会等の関係団体とも連携した取組みを進める。	→
		日本遺産の活用によるインバウンドの推進	日本遺産に認定された、「忍者」「信楽焼」を活用した情報発信により、海外からの誘客を推進します。	市 関係機関 民間	●	●	関係市町とともに取組む日本遺産活用事業により情報発信を進める。今後、更なる地元の巻き込みや自走する仕組みが必要。	日本遺産を契機とした他市町や地元と連携した取組みが持続できる仕組みづくりを進める。	→
		観光関連事業の支援	第2次甲賀市観光振興計画に基づき、多様な観光資源を活用した飲食店や物販店などの観光産業に関わる事業所への支援を行います。	市 関係機関	●	●	甲賀市歴史文化都市構築事業補助金の活用等により、観光事業者の起業や観光産業の振興を図る。現在、整備を進めている観光拠点との相乗効果を高めるための取組みが必要。	2020年に1次整備、2021年以降に2次整備が計画されている観光拠点と事業者とのネットワーク形成を関係団体等との連携により進める。	→
		観光拠点の整備	忍者を核とする観光拠点の整備を進めます。	市 関係機関	●	●	2020年度の「忍びの里プララ」の観光拠点オープンに向けて1次整備を進める。	観光拠点整備の効果を高めるため、拠点周辺の2次整備に取り組み、地域の観光の核となるネットワークを形成する。	→
		関係機関による一体的な支援拠点の整備【再掲】	中小企業の多様な経営課題に対応するための総合的な相談窓口となり、関係機関の支援ネットワークのハブ機能を有し、継続して支援を行う支援拠点の整備を進めます。	市 関係機関	●	△	甲賀市商工会が設置準備を進めている（仮称）甲賀ビジネスサポートセンターとの密な連携を検討する。	2020年から運用開始が計画されている（仮称）甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携し、取組みを進める。	→

基本目標	施策	主な事業	事業の概要	実施主体	2019年度 (計画)	2019年度 (現状)	取組状況・課題等	今後の取組	2020年度
5. 経営と雇用の安定化	①. 中小企業の経営支援	経営資金の確保	現行の小口融資を引き続き実施し、適切な融資により企業の経営基盤の安定化を目指します。信用保証や各種融資・補助制度など、中小企業の経営支援のための国や県及び各種団体の制度を有効に活用できるよう、情報を収集し提供に努めます。	市関係機関	●	●	市内金融機関との連携により、小口融資等の施策に取組む。	市内金融機関との連携により、小口融資等の施策に取組むとともに、(仮称)甲賀ビジネスサポートセンター等の支援機関とも連携した取組みを検討する。	→
		域内調達と発注時期の平準化	市全ての部局で調達に際して地域の事業者が積極的に参加できるよう配慮するとともに、計画的な事業経営ができるよう、公共事業等の発注時期の平準化に努めます。	市	●	●	地域の事業者が公共入札に積極的に参加できるよう、指名業者制度等を運用する。	地域の事業者が公共事業等の入札に積極的に参加できるよう、指名業者制度等を運用する。	→
		市内リフォーム需要の喚起	地域経済の活性化を図りながら、少子化対策や定住を促進するため、市内でのリフォーム需要の喚起を図ります。	市民間	●	●	リフォーム事業補助金の活用により、地域の事業者の活性化と定住人口の維持・増加を図る。併せて、空家活用や空き家活用を目的としたリフォーム支援を実施しているが、利用が低調。	現在の取組みに加え、空家活用や空き家活用を目的としたリフォーム支援について更なる効果的な運用を検討する。	→
	②. 事業承継・事業連携の推進	事業承継の促進	事業承継についての意識・意欲向上のため、ノウハウや成功事例などを情報提供するとともに、他の支援機関との連携を行い、円滑な事業承継を促進します。	市関係機関 民間	●	△	甲賀市商工会が設置準備を進めている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターとの密な連携を検討する。	2020年から運用開始が計画されている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携し、取組みを進める。	→
		中小企業間の連携推進	専門家の派遣等による、企業間のネットワーク構築と強化を図り、市内企業の課題発見・解決に向けた取り組みや、経営資源の相互補完を図るための同業種間での連携の促進、ものづくり中小企業の下請け構造からの脱却を目指した共同受注体制の確立など、ビジネス展開に向けた中小企業間の連携を推進します。	市関係機関 民間	△	△	甲賀市商工会が設置準備を進めている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターとの密な連携を検討する。	2020年から運用開始が計画されている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携し、取組みを進める。	●
	③. 人材の育成・確保支援	就労支援の強化	関係支援機関とも連携し、中小企業と求職者のマッチングを目指す合同企業説明会や企業の人材確保をテーマとしたセミナー等を積極的に紹介することにより、中小企業の人材確保を支援します。	市関係機関	●	●	湖南市と合同で合同企業説明会「JOBフェア」を開催。求人を出す企業の参加は多数あるが、求職者を潤沢に集めることが課題。	近隣大学への宣伝強化に加え、市内の求職者に市内に働く場所が多数あることを情報発信し、求職者の参加増加を図る。	→
		雇用機会の創出	観光産業やデザイン、コンテンツのクリエイティブ産業などの多様な雇用機会の創出を図り、雇用のミスマッチ解消に取り組みます。	市関係機関	△	△	甲賀市商工会が設置準備を進めている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターとの密な連携を検討する。	2020年から運用開始が計画されている(仮称)甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携するほか、観光協会等の関係団体とも連携した取組みを進める。	●
		若者の定着促進	大学や高等学校、中学校、関係団体と連携し、学生や生徒に対し、市内中小企業の魅力を発信するなど、市内中小企業と学生・生徒との相互理解を促進するための環境づくりを進め、若年人材の市内中小企業への就職を促進します。	市関係機関 民間 大学等	△	△	市内に多くの就職先があることや魅力的な事業所があることについて、学生や学校に情報発信する仕組みが必要。学校側の情報を受ける体制や情報発信の手法も課題となっている。	魅力的な企業の情報収集を進めるとともに、学校や学生、保護者が無理なく情報が受けられる情報発信の仕組みや手法を検討する。	●

基本目標	施策	主な事業	事業の概要	実施主体	2019年度 (計画)	2019年度 (現状)	取組状況・課題等	今後の取組	2020年度
		人材育成の支援	関係支援機関との連携により中小企業が抱える人材育成の課題に関し、相談・援助を行うとともに、研修会を実施するなど中小企業の人材育成を支援します。 次世代を担う子どもが、ものづくりの楽しさや科学の面白さ等を体験することによる市のものづくり産業を担う人材の創出・育成について教育機関と連携し検討します。	市 関係機関 大学等	△	△	企業のニーズの把握や関係支援機関との役割分担等について整理が必要。学校側の情報を受ける体制や情報発信の手法も課題となっている。	企業ニーズの把握を進めるとともに、連携可能な教育機関の掘り起しを進める。	●
		外国人材の確保	地域経済の活性化に資する外国人の受入を促進するため、外国人留学生や高度外国人材等の活用を図るとともに、日本での就労資格を持つ外国人のニーズに応じた就労促進を検討します。	市 関係機関	△	△	企業ニーズの把握や外国人雇用を取り巻く市内の課題について整理を進める必要がある。	引き続き情報収集を進めるとともに、市の体制整備や官民連携による取組みについて検討を進める。	●
④. 働き方改革・ワークライフバランスの推進	④. 働き方改革・ワークライフバランスの推進	ワーク・ライフ・バランスの推進	仕事と子育てや介護等が両立できる雇用環境づくりをはじめ、人材の確保・定着や生産性の向上など、企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組を推進します。	市 関係機関 民間	●	●	市内企業を訪問し情報提供を行う。企業の生産性向上への取組みや意識改革を更に進める必要がある。	関係支援機関と連携して情報収集するとともに、引き続き企業訪問により情報提供を行う。	→
		女性活躍の推進	働く場で「女性の力」を最大限に発揮できるよう、企業や団体との連携により、ワーク・ライフ・バランスやイクボスを推進します。	市 関係機関 民間	●	●	市内企業を訪問し情報提供を行う。市内企業68社がイクボス宣言を行う。	イクボス宣言後の取組みについて各企業にアドバイザーの派遣や働き方改革セミナーの開催等の支援について検討する。	→
		女性の起業・キャリアアップの促進	起業を目指す女性や女性従業員のキャリアアップを支援する市内の企業・事業所、子育て中の女性に対し、資格取得にかかる経費の支援や、各企業で女性の資格取得補助制度などキャリアアップ支援制度の整備を促進します。	市 関係機関 民間	●	●	こうか女性創業セミナー、女性のチャレンジショップを開催し、女性の起業を支援。起業後の伴走支援が必要。女性の資格取得補助制度により、市内事業所に勤める女性のキャリアアップを支援。	2020年から運用開始が計画されている（仮称）甲賀ビジネスサポートセンターと密に連携し、企業取組みを進める。引き続き、資格取得支援を軸とした女性のキャリアアップ支援に取り組む。	→
		女性の就労促進	女性の社会参画や就労生活を、就労相談・求人情報の提供・現場見学など多方面から支援し、就業を支援します。	市 関係機関 民間	●	●	合同企業説明会「女性のためのお仕事フェア」の開催。潜在保育士の職場復帰を促す「甲賀市人材バンク」について周知。女性の就職希望者に対して学習機会が必要。	マザーズ就労相談の開催等、子育て等で退職した女性の再就職支援について検討する。女子社員ネットワーク事業を検討し、働く女性の事業間交流による学習機会の場を作る。	→
		高齢者の活躍促進	働く意欲を持つ高齢者が、その培ってきた経験や知識、技能を活かし、活躍できる場の拡大に努めます。	市 関係機関 民間	●	●	シルバー人材センターとの連携による高齢者活躍を推進。	多様な人材の確保のため、シルバー人材センターと連携して情報発信を進める。	→
		高齢者の就業機会の確保	シルバー人材センターの活用等により、高齢者の多様な就業ニーズに応じた就業機会の確保を推進します。	市 関係機関 民間	●	●	シルバー人材センターとの連携による高齢者活躍を推進。	多様な人材の確保のため、シルバー人材センターと連携して情報発信を進める。	→
		障がい者の活躍促進	障がい者の就労ニーズと企業の雇用ニーズのマッチングを行うなど、多様な就労ニーズに応じた雇用機会の確保を促進します。	市 関係機関 民間	●	●	障がい者向けの合同企業説明会を開催し、企業とのマッチングを図る。	多様な就労機会の確保のため、参加企業や参加者を更に増やせるよう情報発信を進める。	→

重点プロジェクトの進捗

△検討、●実施、→継続

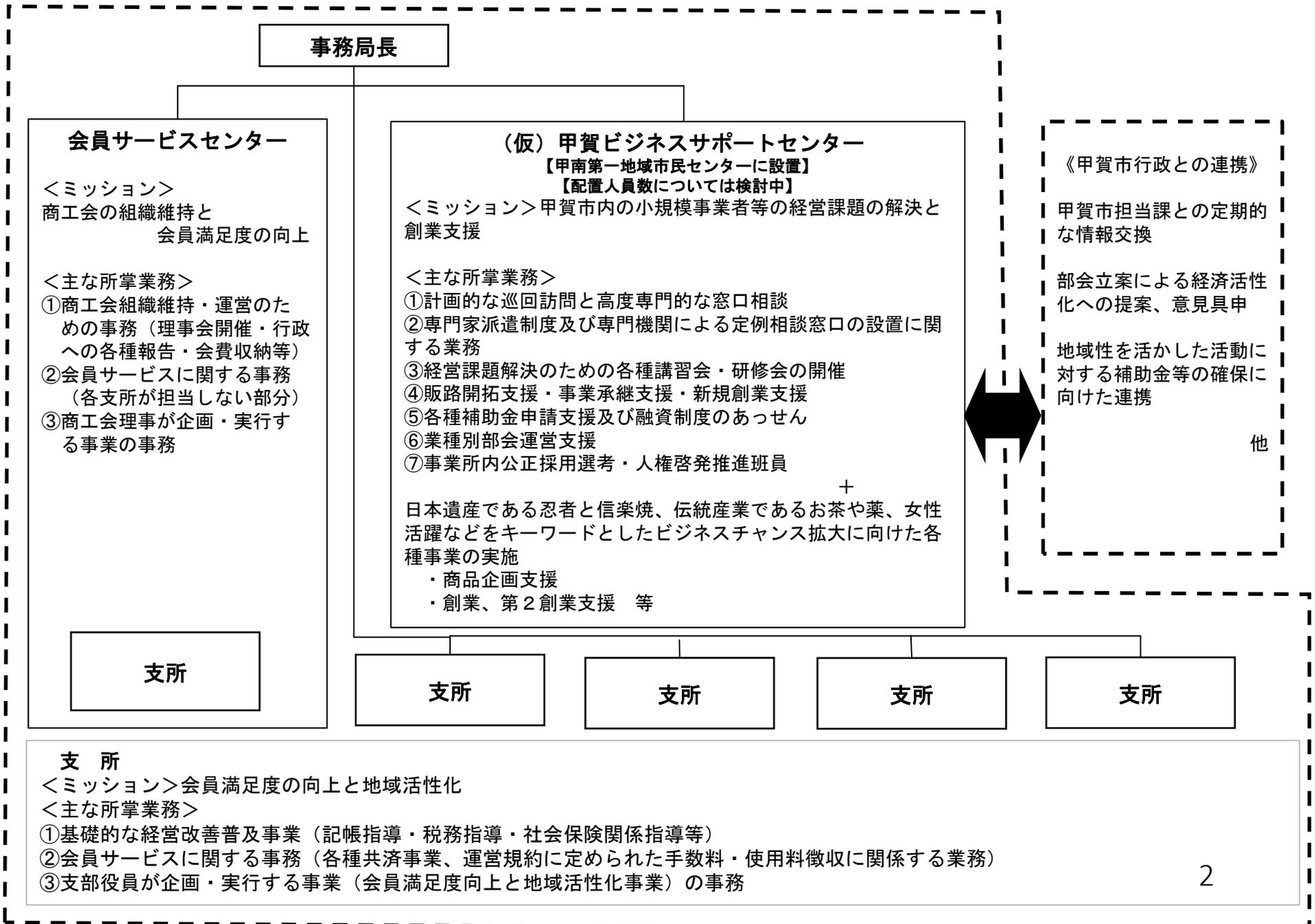
プロジェクト	主な取り組み内容	実施主体	2019年度 (計画)	2019年度 (現状)	取組状況・課題等	今後の取組	2020年度
①関係機関による一体的な支援拠点（ビジネスサポートセンター）の設置・運営	○一体的な支援拠点（ビジネスサポートセンター）の設置	市 関係機関 民間	●	●	（仮）甲賀ビジネスサポートセンターの令和2年度開設に向けて準備中	令和2年度に甲賀市役所甲南庁舎にてオープン	→
	○計画的な巡回訪問と高度専門的な窓口相談	市 関係機関 民間	△	△	（仮）甲賀ビジネスサポートセンターの令和2年度開設に向けて準備中	ビジネスサポートセンターを軸とした関係機関との連携を検討	●
	○専門家派遣制度及び専門機関による定例相談窓口の設置	市 関係機関 民間	●	●	（仮）甲賀ビジネスサポートセンターの令和2年度開設に向けて準備中	ビジネスサポートセンターを軸とした関係機関との連携を検討	→
	○経営課題解決のための各種講習会・研修会の開催	市 関係機関 民間	●	●	甲賀市商工会において取組み中	ビジネスサポートセンターを軸とした関係機関との連携を検討	→
	○販路開拓支援・事業承継支援・創業支援	市 関係機関 民間	●	●	市、甲賀市商工会において取組み中	ビジネスサポートセンターを軸とした関係機関との連携を検討	→
	○各種補助金申請支援及び融資制度のあっせん	市 関係機関 民間	●	●	市、甲賀市商工会にて取組み中	ビジネスサポートセンターを軸とした関係機関との連携を検討	→
②人材の確保と育成支援	○高卒人材の市内企業就業支援	市 関係機関 教育機関	△	△	検討中	学校や保護者を無理なく巻き込む仕組みづくりが必要	→
	○外国人材の確保検討	市 関係機関	△	△	検討中	既にノウハウのある民間の知見を活かす取組みが必要	→
	○都市部在住人材のUIJターン促進	市 関係機関	△	△	検討中	都市部在住者と市内の仕事をつなげる仕組みづくりが必要	→
	○合同就職面接会による雇用機会の提供	市 関係機関	●	●	各種JOBフェアを開催	若者、女性、障害者向けのJOBフェアのほか、高齢者活用についても要検討	●
	○インターンシップの活用による雇用促進	市 関係機関 教育機関 民間	△	△	検討中	市内企業と教育機関とのつなげる仕組みづくりを検討	→
	○人材育成に関する相談・支援体制の強化	市 関係機関	●	●	検討中	関係機関との情報交換を密にし、具体的な取組みを検討	→

プロジェクト	主な取り組み内容	実施主体	2019年度 (計画)	2019年度 (現状)	取組状況・課題等	今後の取組	2020年度
	○教育機関との連携検討	市 関係機関 教育機関 民間	△	△	検討中	特に市内高等学校との連携を検討	→
	○ワーク・ライフ・バランスの推進	市 関係機関 民間	●	●	市内企業に情報提供、計68社によりイクボス宣言	引き続き、民間を巻き込んだ取組みを継続	→
	○女性の活躍推進	市 関係機関 民間	●	●	女性の働きやすい環境づくり、就労支援、起業支援に取組む	引き続き、民間を巻き込んだ取組みを継続	→
③新産業特区プロジェクト	○忍者を活用した観光振興の核となる観光特別地域プロジェクト	市 関係機関 民間	●	●	2020年の1次整備に向け、甲南公民館の改修に取組む	観光拠点と事業者とのネットワーク形成を関係団体等との連携を検討	→
	○公共交通機関の利活用を核とした都市機能向上による産業振興プロジェクト	市 関係機関 民間	△	△	貴生川駅周辺の活性化に向けた構想策定に向けて庁内横断で取組む	民間企業の巻き込みを進め、プロジェクトを掘り起す	●
	○中山間地域における学校活用プロジェクト	市 関係機関 教育機関 民間	△	△	山内小学校の民間活用について調整中	市内の他の学校についても検討を継続	→
	○薬と健康をテーマとした産学官金連携プロジェクト	市 関係機関 教育機関 民間	△	△	くすり学習館の活用を軸とした取組みに着手	教育機関や民間企業を巻き込んだプロジェクトを掘り起す	→
	○信楽焼を活用した新ビジネス創出プロジェクト	市 関係機関 教育機関 民間	△	△	ドラマの効果を市内に生み出す取組を進める	産地間連携や異業種連携について検討しプロジェクトを掘り起す	→

一 体 的 な 支 援 拠 点

「（仮）甲賀ビジネスサポートセンター」の設置

(仮) 甲賀ビジネスサポートセンター 設立案



会員サービスセンター

＜ミッション＞
商工会の組織維持と
会員満足度の向上

＜主な所掌業務＞

- ①商工会組織維持・運営のための事務（理事会開催・行政への各種報告・会費収納等）
- ②会員サービスに関する事務（各支所が担当しない部分）
- ③商工会理事が企画・実行する事業の事務

支所

(仮) 甲賀ビジネスサポートセンター
【甲南第一地域市民センターに設置】
【配置人員数については検討中】

＜ミッション＞甲賀市内の小規模事業者等の経営課題の解決と創業支援

＜主な所掌業務＞

- ①計画的な巡回訪問と高度専門的な窓口相談
- ②専門家派遣制度及び専門機関による定例相談窓口の設置に関する業務
- ③経営課題解決のための各種講習会・研修会の開催
- ④販路開拓支援・事業承継支援・新規創業支援
- ⑤各種補助金申請支援及び融資制度のあっせん
- ⑥業種別部会運営支援
- ⑦事業所内公正採用選考・人権啓発推進班員

+

日本遺産である忍者と信楽焼、伝統産業であるお茶や薬、女性活躍などをキーワードとしたビジネスチャンス拡大に向けた各種事業の実施

- ・商品企画支援
- ・創業、第2創業支援 等

支所

《甲賀市行政との連携》

甲賀市担当課との定期的な情報交換

部会立案による経済活性化への提案、意見具申

地域性を活かした活動に対する補助金等の確保に向けた連携

他

支 所

＜ミッション＞会員満足度の向上と地域活性化

＜主な所掌業務＞

- ①基礎的な経営改善普及事業（記帳指導・税務指導・社会保険関係指導等）
- ②会員サービスに関する事務（各種共済事業、運営規約に定められた手数料・使用料徴収に係る業務）
- ③支部役員が企画・実行する事業（会員満足度向上と地域活性化事業）の事務

市がビジネスサポートセンターに期待する役割

<ミッション> 甲賀市内の小規模事業者等の経営課題の解決と創業支援

<主な所掌業務>

- ①計画的な巡回訪問と高度専門的な窓口相談
- ②専門家派遣制度及び専門機関による定例相談窓口の設置に関する業務
- ③経営課題解決のための各種講習会・研修会の開催
- ④販路開拓支援・事業承継支援・新規創業支援
- ⑤各種補助金申請支援及び融資制度のあっせん
- ⑥業種別部会運営支援
- ⑦事業所内公正採用選考・人権啓発推進班員

+

日本遺産である忍者と信楽焼、伝統産業であるお茶や薬、女性活躍などを活かしたビジネスチャンス拡大に向けた各種事業の実施

- ・商品企画支援
- ・創業、第2創業支援 等

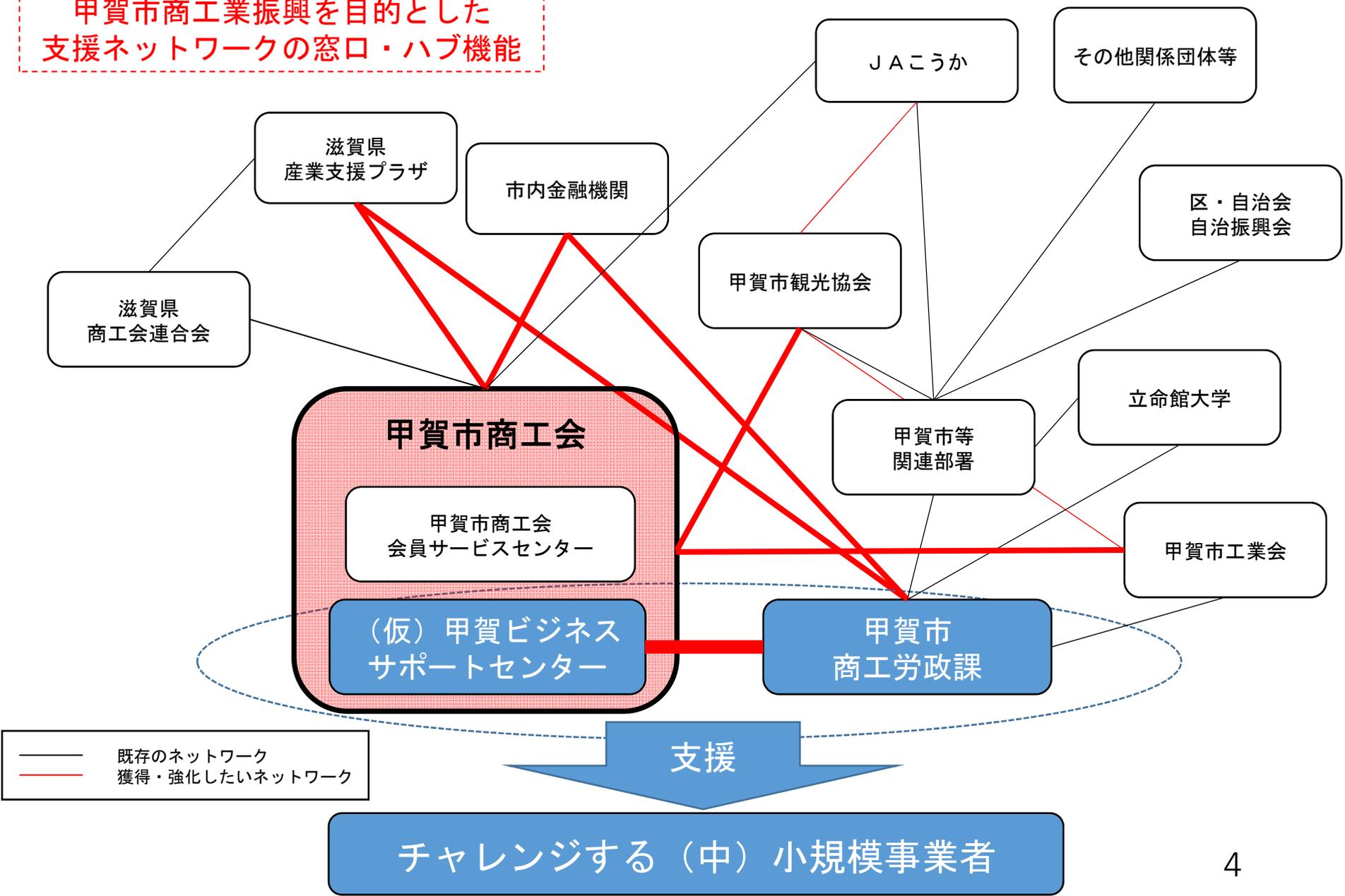
特に重視したいテーマ・取組み

- ◎女性活躍
- ◎観光ビジネスの担い手発掘・育成
- ◎商工会会員と市内製造業企業との連携

【新商品・サービスの開発、二次創業・新規創業支援、ステップに応じた伴走支援、市と連携したインフラ整備の検討 等】

ビジネスサポートセンターに期待する将来像

甲賀市商工業振興を目的とした
支援ネットワークの窓口・ハブ機能



合同就職面接会による雇用機会の提供

甲賀市湖南省市合同JOBフェア (若年者対象)

【事業概要】

滋賀県内および近隣府県の大学、短期大学、専修学校等に就学する学生等を対象とした合同就職面接会を開催し、甲賀市・湖南省市内の企業とのマッチングを図ることで企業の人材確保を支援すると同時に、企業向けに合同就職面接会開催前の事前セミナーを開催し、企業の採用力向上を図ります。

【開催概要】

会 場：クサツエストピアホテル
 日 時：2019年6月17日（月）
 13:30～16:00
 参加企業数：66社
 来 場 数：74人
 内 定 数：13社・17人

参加無料 予約不要 入退場自由

2019 甲賀市湖南省市合同JOBフェア

会場 クサツエストピアホテル
 滋賀県草津市南大島町4-32 アクセス2号車 徒歩約3分

合同就職面接会
13:30 - 16:00
 【受付開始 13:00 受付終了 15:30】
 ※オープニング講演 13:10-13:30

対象者 甲賀市内・湖南省内で就職を希望する2020年3月に大学(院)、短期大学、高等専門学校、専修学校等を卒業予定の学生(卒業後3年以内含む)
 若年求職者(概ね40歳代前半まで)

主催 甲賀市役所 商工労働課 〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053番地 TEL: 0748-69-2188
 湖南省市役所 商工観光労働課 〒520-3288 滋賀県湖南省市中央一丁目1番地 TEL: 0748-71-2332

お問い合わせ先 株式会社学情 京都支社 〒410-0006 京都府下野区河津渡鳥丸東入ル長刀鉾8
 京都三本ビルディング5F TEL: 075-213-5611(内線) FAX: 075-213-5612

※2020年卒はコチラ **あさがくナビ** 電話予約ナビ・2020
 ※若年求職者はコチラ **RO京就活** イベントページよりご登録ください。

共催/パトナーワーク甲賀 協力/滋賀労働局、しやせんぐらぶパトナー、滋賀県中小企業団体中央会、結びわ湖内水・地域コンソーシアム、GOD、参加大学、甲賀市工業会、甲賀市企業人権啓発推進協議会、湖南省工業会、公認財団法人滋賀工業技術協会、湖南省企業・若年求職者支援協議会



甲賀市 湖南省市障がい者 合同就職面接会

【事業概要】

平成30年4月1日から障がい者の法定雇用率が2.2%に引き上げられ、また令和3年4月までに更に0.1%引き上げられるが、障がい者を取り巻く就職環境は依然厳しい状況にある。一方、企業においてはダイバーシティマネジメントから障がい者雇用が重要視されていることから、障がい者には雇用機会を、企業・事業所には必要な人材確保の場として、就職面接会を開催する。

【開催概要】

会 場：サンヒルズ甲西
日 時：2019年11月7日（木）
13:30～16:00
参加企業数：12社
来 場 数：24人

甲賀市 湖南省市 障がい者合同 就職面接会

甲賀市・湖南省市では、障がいのある方を対象に、市内の企業・事業所等との就職面接会を開催します。面接会場で事業所の採用担当者から、仕事の内容、労働条件、福利厚生等について直接説明を聞いていただけますので、就職をお考えの方はぜひご参加ください。

令和元年

11/7

木

受付開始 13:00 受付終了 15:30
面接会 13:30～16:00

開催場所 **サンヒルズ甲西**

〒520-3202 湖南省市西峰町1-1 TEL:0748-75-8190



予約
不要

参加
無料

入退場
自由

手話通訳
あり

無料
送迎車
あり

※ハローワークに求人登録している人は、**案内封筒**か**ハローワークカード**を持ってきてください。登録していない人は、**障害者手帳**を持ってきてください。※当日は面接したい事業所と同じ数の**履歴書**を持ってきてください。

参加事業所一覧

事業所名	働く場所
◆社会福祉法人 近江和順会	湖南省市若草300-4
◆興業産業 株式会社	湖南省市石田口二丁目7-33
◆株式会社 ジョブフィール	湖南省市石田口
◆王子エンテックス 株式会社 遊興工場	湖南省市朝園95番地
◆カルビー・イートワーク 株式会社	湖南省市相子袋528番地1

事業所名 **働く場所**

◆医療法人社団仁生会 甲南病院	甲賀市甲南町兼木358
◆株式会社 やまみ	甲賀市甲西町せつぎ18
◆株式会社 和歌 遊興工場	甲賀市甲西町高尾野100
◆甲賀農業協同組合	甲賀市水口町水口111-1
◆三輝建設 株式会社	甲賀市甲西町田邊野893-1
◆株式会社 ジャセントショップ	甲賀市水口町本郷504-1
◆甲賀市役所	甲賀市水口町水口3093

主催/甲賀市 共催/ハローワーク甲賀 問い合わせ先/甲賀市役所 農工商労働課 TEL.0748-69-2188 FAX.0748-63-4087
湖南省市 甲賀地域働き暮らし・必要センター 湖南省市役所 農工商労働課 TEL.0748-71-2352 FAX.0748-72-8820

女性活躍推進のためのお仕事フェア (お仕事セミナー&合同就職面接会)

【事業概要】

結婚や出産等で離職し、甲賀市内で再就職を希望する女性の就業促進と甲賀市内の企業・事業所の人材確保につなげることを目的として女性活躍推進のためのお仕事フェア（お仕事セミナー&合同就職面接会）を開催する。

【開催概要】

会 場：甲賀市碧水ホール
日 時：2020年1月16日（木）
13:30～16:00
参加企業数：16社

働くならやっぱり甲賀！甲賀市で働こう！！

子どもが幼稚園に行っている間だけ働きたいな...

女性活躍推進のためのお仕事フェア

令和2年 1/16 (木)

参加費 無料 申込 不要
服装 自由 入退場 自由

10:00～13:30 (受付開始 9:30 受付終了 13:00)

会場 碧水ホール
参加対象者 甲賀市内で就職を希望する方
持ち物 ハローワークカードをご持参ください(お持参の方)

子育て中の方も安心
無料託児サービス (6か月～未就学児)
※要予約(先着20名)
6か月未満のお子様と同様でもOK!
託児予約 TEL 0748-69-2189 (甲賀市産業経済部)

10:00～10:45
お仕事セミナー
企業ブースを回る前に
知っておきたい3つのポイント!

11:00～12:30
企業面談ブース
働きたい方も応援する
企業16社が参加
希望条件などの質問だけでもOKです
職場見学もできる企業もあります

13:00～13:30
お仕事相談ブース
履歴書添削ブース
子育て相談ブース
在宅ワーク相談ブース (梅) キルリアム
新規就職相談ブース
市内保育園・幼稚園 求人ブース

1 就活メイクアップ & お肌チェック
2 セルフマッサージレッスン
3 履歴書用写真撮影

お問合せ先 甲賀市役所 産業経済部商工労働政策女性活躍推進室
Tel 0748-69-2189 Fax 0748-63-4087
【主催】甲賀市 【共催】ハローワーク甲賀、滋賀県 【協力】甲賀市工業会
甲賀市 お仕事フェア

女性 の 活躍 推進

甲賀市女性活躍推進室の事業展開

「地域」や「職場」で「チャレンジする女性」への支援を一体的に推進します

仕事と家庭の両立支援

ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・ワーク・ライフ・バランス推進事業
【イクボス宣言の推進】
【専門家派遣による企業啓発】
- ・女性の起業支援事業
【チャレンジショップ開催】

女性活躍に向けた企業の取組促進

- ・企業経営者意識改革セミナー開催
- ・女性の資格取得企業支援事業補助金

女性の
管理職が
増える

女性活躍に向けた調査・分析

- ・女性活躍市民意識調査事業

仕事と
子育てが
両立できる

ワーク・ライフ
・バランスが
実現できる

様々な分野で
起業が
できる

結婚・出産・
子育て

創業

再就職

継続就労

キャリア・アップ

男女共同参画の推進

- 男女共同参画審議会による計画策定・進捗管理
【第2次男女共同参画計画】
【女性の活躍アクションプラン】

再チャレンジへの総合的支援

- ・マザーズ就労相談事業
- ・女性の資格取得支援事業補助金（市民対象）
- ・女性のためのお仕事フェア開催

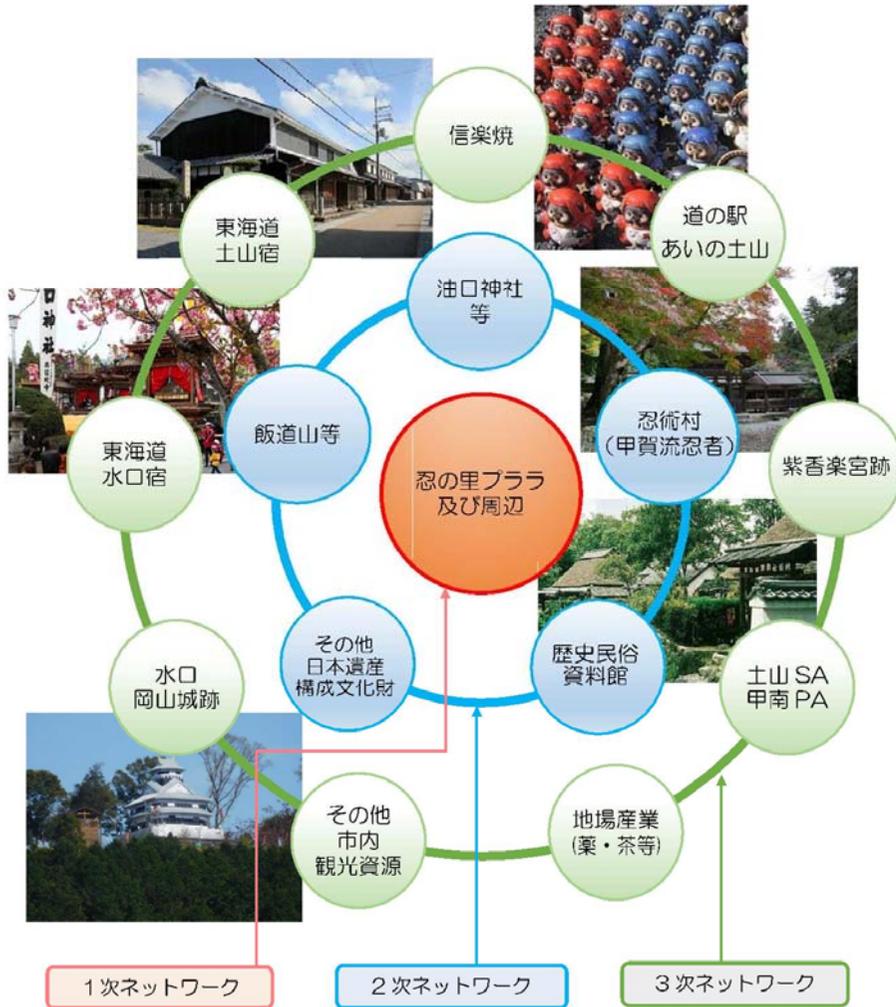
進路
選択

就職

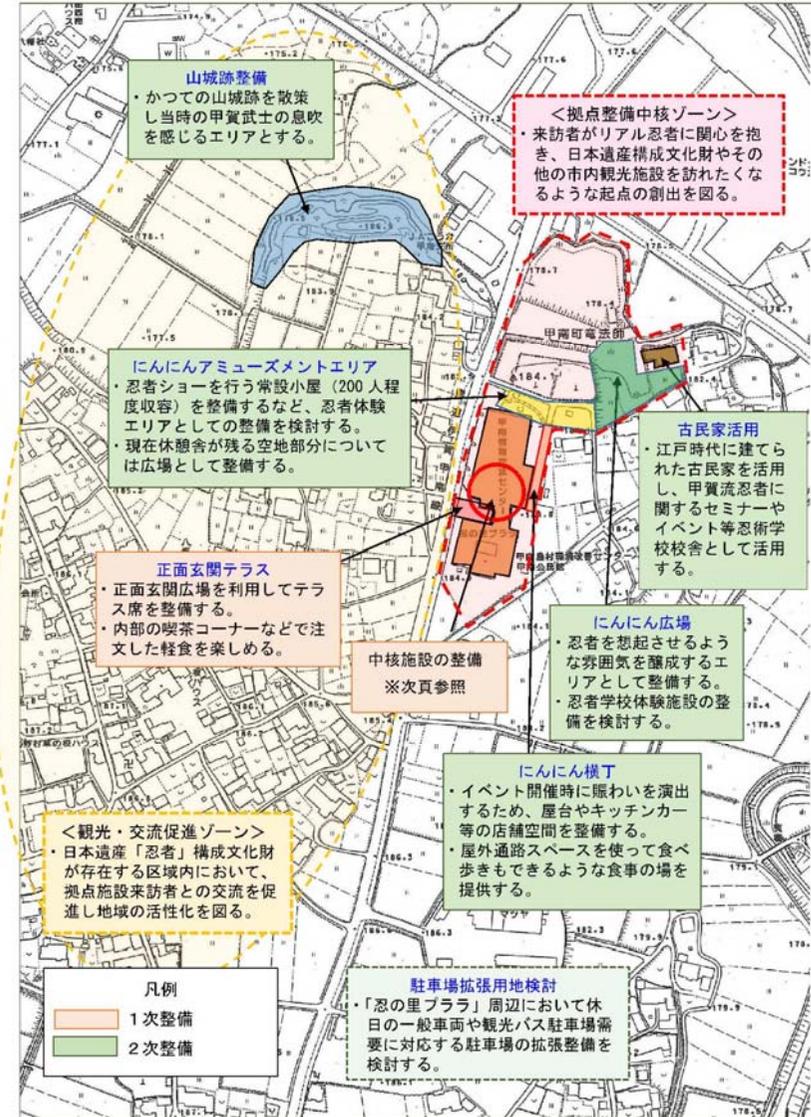
離職

忍者を活用した観光拠点整備について

【図 観光資源ネットワーク形成イメージ図】



(4) 拠点地区周辺のゾーニング計画



展示案

甲賀市のメインゲートとなる「新・忍の里プララ」

新しい忍の里プララでは改修部分を甲賀流忍者の修行の場とします。体験型の展示を中心と1階エントランス部分と、映像演出と忍者関連資料でゆったり鑑賞できる2階部分の大きく二分け、施設全体で幅広い年齢層に対応できる施設とします。整備の時間経過に伴い、成長して子ども達がいつ来ても学び楽しむことができ、長く来訪者に愛される施設を実現していきます。

① プロローグ 甲賀流・忍者の基礎修行を模擬体験! 提案イメージ図

施設ガイダンスを入りに設置。楽しみを紹介し、その隣に甲賀流忍者の情報伝達手段である「忍びいろは」もとに暗号を設置。忍者たちの知恵や考え方を学びます。さらに、飯道山の「胎内くぐり」を模した修行や、ジャンプして手裏剣シールを貼り付ける「跳躍力」の修行など体を使った忍者修行を疑似体験する空間を創ります。



1階：甲賀流忍者になりきって楽しく学べる、甲賀流忍術修行!
子どもも大人も楽しい!

提案イメージ図

② メイン展示 甲賀流忍術修行!五通の術を習得せよ!!

木通・土通・水通・火通・金通の術を体得する修行の場、それぞれの術に応じた体験が出来て五通の術が忍者が逃げる手段として用いていた技であることを併せて解説していきます。

木の通の術 木肌をプリントした布で隠れる体験が出来たり、坂を回すと忍者が現れるハンズオン展示を設置します。

土の通の術 甲賀の城壁をくぐる、隠れる体験ができ、甲賀の入り組んだ地形について知ることが出来ます。

水の通の術 シートの上に立つと深い池の水面を歩いているように見えるトリックアート。フォトスポットとして情報拡散を狙います。

火の通の術 一方からは火を吹いている様に、他方からは煙に隠れている様に見える、イメージと異なる火通の術を知ることが出来ます。

金の通の術 自作の紙手裏剣を的に投げつける体験ができ、紙手裏剣の重さも体験できます。

③ ちょっと一息 甲賀市観光情報コーナー

エントランスの奥に甲賀市観光情報コーナーを設置します。甲賀市の地図を掲載したホワイトボードとデジタルサイネージで甲賀市の観光情報を訪問者に提供します。情報は更新ができ最新の観光情報を発信できます。また、休憩コーナーとした可動式の畳を設置し、市民どうしの交流や、来訪者との交流の場になります。

提案イメージ図

忍者年表
甲賀市地図
畳台(可動式)
忍者の非常食なども紹介

甲賀市企業立地対策プロジェクトチームの立ち上げについて

甲賀市の製造品出荷額等は、12年連続で滋賀県内1位
H29 1兆円の大台越え【1,025,764,300,000円】

※全国では65位／1,654市町村（H28）

◎直接税収

税収142.7億円の内、法人市民税18.2億円（12.7%）と固定資産税70.0億円（49.1%）の多くを製造業により支えられている。

◎雇 用

市内従業員数43,455人の内、17,288人（39.8%）が製造業
※ H28経済センサスより

税収・雇用の多くは製造業により直接支えられている。人口、間接税収、地域経済への波及等を踏まえると、製造業の存在は極めて大きい。

甲賀市における工業統計表（従業員数4人以上）

	事業所数	従業者数 (人)	現金給与総額 (万円)	原材料使用額等 (万円)	製造品出荷額等 (万円)	粗付加価値額 (万円)
製造業計	355	17,131	8,049,460	62,981,096	102,576,430	37,442,512
食料品製造業	19	672	177,547	593,193	1,139,864	513,988
飲料・たばこ・飼料製造業	16	271	55,783	179,212	308,244	115,007
繊維工業	12	402	152,895	991,410	1,377,916	359,191
木材・木製品製造業（家具を除く）	9	285	104,095	1,196,938	1,560,921	338,362
家具・装備品製造業	9	420	180,782	905,749	1,510,850	561,463
パルプ・紙・紙加工品製造業	13	464	195,561	945,545	1,619,241	638,718
印刷・同関連業	8	499	288,127	847,262	1,812,094	930,016
化学工業	28	2,527	1,506,450	25,612,954	46,181,663	19,330,968
石油製品・石炭製品製造業	1	4	X	X	X	X
プラスチック製品製造業	38	1,738	688,018	1,856,637	3,805,961	1,810,516
ゴム製品製造業	2	23	X	X	X	X
窯業・土石製品製造業	69	1,187	428,331	1,227,596	2,560,845	1,236,358
鉄鋼業	7	255	129,067	1,760,665	2,351,293	556,585
非鉄金属製造業	7	615	290,624	5,074,833	6,110,532	971,626
金属製品製造業	39	1,467	639,139	2,884,187	4,515,004	1,533,983
はん用機械器具製造業	8	895	466,268	1,874,078	3,598,370	1,629,902
生産用機械器具製造業	19	1,422	761,107	7,955,573	11,491,671	3,530,979
業務用機械器具製造業	4	347	210,356	476,838	992,149	493,132
電子部品・デバイス・電子回路製造業	5	807	605,246	3,325,397	3,599,339	268,288
電気機械器具製造業	16	891	302,477	1,992,463	2,616,291	584,613
輸送用機械器具製造業	21	1,821	799,377	3,179,462	5,153,554	1,881,182
その他の製造業	5	119	52,667	68,043	193,942	117,242

市内製造業を 取り巻く状況

- ・人口減少による国内市場の縮小
- ・労働人口の減少
- ・生産拠点の再編
- ・自治体間競争
- ・経済のグローバル化
- ・設備の老朽化
- ・産業用地の不足

【昭和30年代から企業立地を進めた甲賀市】

古い量産工場が多数立地しているため、企業流出のリスクが高まっている

A社

(2009年 市内工場が滋賀県野洲市に集約)

B社

(2014年 市内工場が長野県箕輪町に集約)

C社

(2020年 市内工場が岐阜県高山市に集約)

D社

(2020年 市内工場が閉鎖)

甲賀市は、企業から選ばれ続ける地域でなければならない。

平成28年 ものづくり企業訪問等の結果（概要）

要望・意見について

① 要望・意見の概要

市内企業からの要望・意見からの主な意見は以下のとおり。

- ・公共交通機関の充実
(草津線の充実、三雲駅からのバスの本数増加、早出遅出に対応したバスダイヤ等)
- ・道路等維持管理（路面補修、工業団地法面の除草・伐採 等）
- ・雇用（工業高校卒業生の確保、人材が集まらない 等）
- ・保育所の早出、遅出対応
- ・窓口延長

市内企業からは、市役所のコア事業をしっかりと磨くことが求められている。

② 企業の抱える課題と要望内容の相関関係

主な要望内容	要望企業数	企業の抱える課題						関連する課題の合計
		通勤環境改善	従業員確保	製品輸送	拠点移動・営業活動の利便性向上	設備投資・更新	組織運営（人事異動等）	
公共交通機関の改善	18	○	○		○	○	○	5
道路整備	10	○		○	○	○	○	5
道路維持管理	17	○		○				2
人材確保（工業高校等充実）	13				○	○	○	3
保育所の充実（時間延長等）	3		○				○	2
補助金・減税	3		○			○		2
その他行政サービスの充実（窓口延長、行政手続きの簡素化、環境対策 等）	5		○				○	2

ヒアリング内容から、主な要望内容を抽出し、企業の抱える課題との関連を検討。

企業の課題に最も多く関わるものは、根強いニーズがある公共交通の改善、次いで道路整備、更に、近年では操業継続そのものに直結する人材確保が課題となっている。

企業立地の傾向

◎工場立地件数の推移（H18～H27） ※1,000㎡以上の工場用地を購入した企業数

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
全国	1,782	1,791	1,630	867	786	869	1,227	1,873	2,470	1,070	1,026	1,035	1,142
近畿内陸	95	107	97	53	61	71	74	90	126	75	69	49	79
近畿臨海	162	135	162	90	64	77	107	101	89	98	77	96	92
滋賀県	44	47	47	22	23	27	30	43	53	28	17	17	15
甲賀市	18	3	1	0	1	0	1	1	0	3	2	1	2

新名神供用

リーマンショック

東日本大震災

円高

経済産業省：工場立地動向調査より

◎最近の甲賀市内の主な工場立地 ※工場立地法届出より

種別	竣工	企業名	業種	所在	内容
拡充	H28.5	市内の工場立地のほとんどは既存工場の拡充 新規立地は100km圏内の近隣企業による			市内移転
拡充	H28.5				自社工場を拡充
拡充	H28.7				自社工場を拡充
拡充	H28.7				自社工場を拡充
拡充	H28.7				自社工場を拡充
拡充	H28.4				自社工場を拡充
拡充	H28.12				自社工場を拡充
新規	H29.2				市外より新規立地
拡充	H30.6				自社工場を拡充
拡充	H30.10				自社工場を拡充
拡充	H31.1				自社工場を拡充
拡充	H31.2				自社工場を拡充
拡充	R1.9				市外より新規立地
新規	R1.10				市外より新規立地
拡充	R2.3				自社工場を拡充

甲賀市企業立地対策プロジェクトチームの設置

（設置目的）

企業が操業しやすい地域づくりを進めることにより、人口減少に歯止めをかけ、税収と雇用を確保し、持続可能な地域社会を実現するため、全庁的かつ戦略的に市内の企業留置と新たな企業誘致を推進する「甲賀市企業立地対策プロジェクトチーム」を設置する。

（所掌事務）

- （１） 市内企業の操業環境の向上に関する事。
- （２） 市内企業の設備投資促進に関する事。
- （３） 市外からの企業誘致に関する事。
- （４） 前３号に掲げるもののほか、企業留置及び企業誘致に伴う総合調整に関する事。

（組織）

- （１） プロジェクトチームには、庁内関係部局の職員で組織する。
- （２） 個別の目的により、別表のとおりワーキンググループを組織し、施策を企画立案し、実行する。

甲賀市企業立地対策プロジェクトチーム ワーキンググループごとに当面取り組むこと

WG名称	当面取り組むこと
<p>操業環境向上ワーキンググループ（環境WG）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業団地の立地環境の向上（道路補修、草刈、振動・騒音・臭気等の対策 等） ・ 道路整備（物流・通勤の視点） ・ 公共交通の利用促進・利便性向上 ・ 優遇制度、規制の調整・緩和の検討
<p>企業誘致ワーキンググループ（誘致WG）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな事業用地の造成 ・ 民間開発を誘導する仕組みづくり（大規模用地、空き工場・市街化空閑地等の利用調整） ・ 優遇制度、規制の調整・緩和の検討
<p>人材確保ワーキンググループ（人材WG）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人を雇用することの課題整理 ・ 女性人材の活躍 ・ 若手人材の確保 ・ 広報特集記事の検討

く す り 学 習 館 の 活 用

《甲賀市くすり学習館 概要》

1. 建物の住所 甲賀市大原中898番地1
2. 建物の概要 鉄筋コンクリート、鉄骨複合造 1階 平屋建
建物面積 1,077.87 m²
事務室、会議室、体験学習室、展示室、他
平成22年8月10日オープン
3. 施設の目的 地場産業である薬業の振興を図るとともに、市民の健康増進、体験学習及び交流の場とする。



当面取り組む市の薬業振興施策について

◎ 現在の取り組み

《「甲賀のくすり」の情報・価値発信》

1 企画展示室の展示委託

- ・ 忍者（山伏）やくすりをテーマにした展示委託
- ・ 展示物の製作委託

2 薬資料の国登録民俗文化財のための資料整理

- ・ 館蔵品の整理、点数把握、目録整備、分類表作成
- ・ 新たな資料の収集、整理
- ・ 甲南ふれあいの館の収蔵品の把握、目録の統合

3 薬と健康、忍者に関する講座の開設

- ・ 3回程度の講座
- ・ テーマ : 《例》 薬草、漢方医学、東洋医学、山伏と薬の歴史 等
- ・ 協力機関 : 立命館大学薬学部 甲南高校薬業科 三重大学医学部

◎ 今後の取り組み

《産官学金連携による「甲賀のくすり」を振興するプロジェクトの企画・検討》

《市内企業への支援・優遇制度の検討》







ド ラ マ の あ る 甲 賀 市

「スカーレット」の活用

連続テレビ小説「**スカーレット**」とは

連続テレビ小説101作目。

究極の働き女子、焼き物の里・信楽の女性陶芸家が主人公。
モノを作り出す情熱と喜びを糧に失敗や挫折にめげず生きていきます。

焼き物も人生も、思いどおりにいかないからおもしろい。
やってみなきゃわからない。

自分のため、大切な人のため行動あるのみ！
懸命に働く彼女を慕う人が集まり、やがて新たな絆が生まれます。
がむしゃらな強さと天性の明るさを持つ女性の、
波乱万丈な物語！

【放送予定】 2019年9月30日～2020年3月28日



オール甲賀での取り組み

「スカーレット」で甲賀を盛り上げる推進協議会

- 【設立】 平成31年3月28日
- 【組織】 商工会、観光協会、
信楽経済団体、区長会、
自治振興会など28団体
- 【活動内容】 ロケの支援
活用事業の企画立案
- 【事務局】 ロケーション推進室



方針

1. **経済効果** 全市的に「スカーレット」効果を生み出す
2. **持続性** レガシーを残す
3. **新資源開発** ロケツーリズムの構築
4. **一体感** 市民が楽しむ

実施事業

ロケ支援

- ・ 道具備品の手配や貸し出し
- ・ エキストラの募集
- ・ 炊出しや差し入れ（有志）



活用事業

- ・ ロゴの作成
- ・ ホームページの作成
- ・ ポスターの作成
- ・ 情報誌（ステラ）の発行
- ・ のれん、のぼり、フラッグの作成
- ・ ラッピング列車の運行
- ・ スカーレット展の開催
- ・ 物産所の開設
- ・ パブリックビューイングの開催
- ・ 緋色なグルメ、スタンプラリーの実施
- ・ イベントでの体験ブース出展
- ・ グッズ（Tシャツ、ステッカー等）の作成
- ・ 交通対策（駐車場整備、案内看板等） など

